

世界史探究 (旧世界史B)

世界史探究 (旧世界史B)

[1] 次の文章を読み、後の問(1～4)に答えよ。

紀元後1世紀にパレスチナで生まれたキリスト教は、ペテロやパウロといった使徒らの伝道によりローマ帝国各地にひろめられた。3世紀にキリスト教徒の数が目立つようになると、国家による迫害がおこなわれるようになったが、4世紀にはいと、キリスト教は①コンスタンティヌス帝が313年に出した(1)によって公認され、同世紀の末には(2)帝により国教とされた。こうしてキリスト教が発展すると、ローマの教会とコンスタンティノープルの教会が有力になった。ペテロ殉教の地であるローマの教会は、ローマ司教が首位に立つことを主張したが、東ローマ帝国(ビザンツ帝国)の首都コンスタンティノープルの教会はこれに反発し、726年にビザンツ皇帝レオン3世が(3)を発布すると東西教会の分裂は決定的となった。

このような状況を背景として、ローマ教会は強力な政治勢力の保護をもとめ、フランク王国に接近していった。751年に教皇がビピン3世のフランク王位を承認すると、ビピンは北イタリアの(4)王国を攻め、ラヴェンナ地方を奪って教皇に献上した。これは②教皇領の起源となった。さらに8世紀後半に(5)が西ヨーロッパの主要部分を統一すると、800年に教皇は(5)にローマ皇帝の帝冠をあたえた。こうして、政治的・文化的・宗教的に独立した西ヨーロッパ世界が成立することとなった。

(5)の死後、フランク王国が分裂し、962年に東フランクで神聖ローマ帝国が成立すると、神聖ローマ皇帝と教皇は協調関係を築いた。しかし、11世紀後半に教皇(6)が聖職者の叙任権をめぐる皇帝ハインリヒ4世と衝突すると、叙任権闘争とよばれる教皇と皇帝の対立がおこった。この叙任権闘争は1122年の(7)協約によって妥協が終結し、教皇が優位な立場にたった。こうして教皇の権威は高まり、13世紀はじめに教皇権は最高頂に達した。

しかし、各国の王権が伸張してゆくと、教皇権は次第に衰退していった。フランス王(8)は1303年に教皇ボニファティウス8世を捕らえ、1309年には教皇庁を南フランスの(9)に移転させた。1377年に教皇はローマに戻ったが、これに対抗して(9)にも別の教皇がたてられ、教会大分裂(シスマ)となった。こうした混乱をおさめるため、③1409年にはイタリア中西部のビサで公会議が開かれ、教会大分裂の解消が試みられたが失敗に終わった。教会大分裂は最終的に、1414年に(10)公会議

が開かれて解決されたが、教皇権はかつての勢いを取り戻すことはできなかった。その結果、16世紀にはヨーロッパ各地で宗教改革がおきることとなるのである。

問1 空欄(1)～(10)にあてはまる語句を答えよ。

問2 下線部①について、コンスタンティヌス帝の事績に関する次の文中の空欄(X)と(Y)に入れる語の組み合わせとして正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

キリスト教の教義をめぐる対立を收拾するため、325年にコンスタンティヌス帝が開催した(X)では、神とイエス・キリストの同質性を強調するアタナシウスの説が正統とされ、イエスの人性を強調する(Y)の説は異端とされた。

- | | | |
|---|--------------|------------|
| ア | X — エフェソス公会議 | Y — ネストリウス |
| イ | X — エフェソス公会議 | Y — アリウス |
| ウ | X — ニケーア公会議 | Y — ネストリウス |
| エ | X — ニケーア公会議 | Y — アリウス |

問3 下線部②について、教皇領は1870年にイタリア王国により占領されるが、1929年のラテラノ条約でファシズム政権により独立を承認された。(1)そのファシズム政権の指導者は誰か、また、(2)独立が認められた後の教皇領は何と呼ばれるか、答えよ。

問4 下線部③に関して、この公会議がひらかれたピサ大聖堂の建築様式を答えよ。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、後の問(1～8)に答えよ。

中国に隋・唐という二つの王朝が成立した時代は、中国だけでなくユーラシア各地に大きな変化が生じた時代であった。

581年に楊堅(文帝)がたてた隋は、589年に南朝の陳を滅ぼし中国を統一した。文帝は北朝の諸制度を継承して財政・軍事を強化するとともに、官僚登用制度である(1)を開始して文官を登用し、①全国統治をはかった。第2代の(2)は大運河を完成させ、三度の高句麗遠征を行ったが、これらの事業に民衆の不満が高まり反乱がおこり、隋は618年に滅亡した。

618年に建国した唐は、隋滅亡後の混乱をおさめ、第2代の(3)の時代に中国を再び統一した。(1)の制度を整備するなど隋の制度を多く受け継いだ唐は、律令を中心とする法典を完成させた。成人男子に土地を均等に支給する(4)と、②土地支給の代わりに税役・兵役を負担させる原則をたてたが、いずれも唐代を通じて維持することはできなかった。一方で、農業生産力は向上し、商業・手工業が活発となった。

唐はモンゴル高原から中央アジアにいたる地域にも勢力を拡大した。(3)の時代には東突厥を服属させ、第3代の高宗の時代には西突厥も服属させた。唐が勢力を拡大したことで、対外交流もさかんになった。アラル海にそそぐアム川・シル川にはさまれた地域のオアシス都市にはイラン系の(5)人が居住しており、彼らは早くから東西交易に従事し、中国にも拠点をかまえていた。(5)人のなかには唐に仕えて軍事・経済面で活躍する者もいた。一方で③唐から西方を訪れる者もいた。

唐の対外関係は7世紀末以降、大きく変化した。東突厥は唐から再び独立していたが、8世紀半ばに遊牧国家の(6)に滅ぼされた。一方、唐の国内では、第6代の(7)の時代に、(5)人と突厥の血を引き④辺境防衛軍の指揮官となっていた安祿山らが反乱をおこした。唐は(6)に援軍を要請して反乱を鎮圧し、その見返りとして(6)は唐との貿易で利益を得た。また、7世紀前半にチベット高原におこった吐蕃は、8世紀後半になると唐に軍事的圧力を加えた。唐は、(6)や吐蕃といった強国に対しては、⑤首長に爵位・官位を与えて皇帝との間に主従関係を結ぶのではなく、擬似的な家族関係になぞらえたり盟約・婚姻関係を結んだりして対処した。さらに⑥西方ではイスラーム勢力に敗れ、唐は中央アジアから撤退せざるを得なくなった。

こうした対外関係の変化や内乱は、⑦唐の政治・社会に深刻な影響を及ぼした。財政は悪化し、唐は東南沿海地域で生産される(8)を専売品として収入を確保した。しかし、(8)の密売が横行し、密売商人がおこした黄巢の乱で決定的な打撃を受けた唐は907年に滅亡した。

問1 空欄 (1) ~ (8) にあてはまる語句を答えよ。

問2 下線部①について、隋が行った全国統治について述べた次の文の下線部 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

隋は、a 大興城を首都に定めた。一方、州・郡・県の三階層となっていた地方行政区画を、b 州を廃止して郡・県の二階層とした。

- ア a—正 b—正 イ a—正 b—誤
ウ a—誤 b—正 エ a—誤 b—誤

問3 下線部②について、唐の税制・軍制に関する次のア～エのうち、誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア 唐は租調庸制（租庸調制）を施行し、穀物・布および労役もしくはその代納としての絹などを課した。
イ 租調庸制（租庸調制）は次第に維持が困難となり、唐は8世紀に一条鞭法を施行して財政の再建をはかった。
ウ 唐の初期には、軍府が置かれた地域の農民を徴兵する府兵制が行われた。
エ 唐は8世紀はじめに、兵士を募集する募兵制を採用した。

問4 下線部③について、唐から西方を訪れた者について述べた次の文の下線部 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

仏典を求めて陸路でインドを訪れ、「三蔵法師」と呼ばれた a 玄奘 は、旅の記録を b 『大唐西域記』 にまとめた。

- ア a—正 b—正 イ a—正 b—誤
ウ a—誤 b—正 エ a—誤 b—誤

問5 下線部④について、これをなんというか答えよ。

問6 下線部⑤について、唐と渤海・新羅などとの間に見られ、そのほかの中国歴代王朝も用いたこのような関係の結び方をなんというか答えよ。

問7 下線部⑥について、このできごとについて述べた次の文の下線部 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

8世紀半ば、a ウマイヤ朝はタラス河畔で唐と戦い、勝利した。この時、唐の捕虜を通じて b 製紙法 が西方にもたらされた。

- ア a—正 b—正 イ a—正 b—誤
ウ a—誤 b—正 エ a—誤 b—誤

問8 下線部⑦について、特に安史の乱による社会の荒廃は、この時代の有名な詩人の作品にも詠まれている。当時、「詩仙」「詩聖」と並び称された二人の詩人の名前を答えよ（解答の順番は問わない）。

〔Ⅲ〕 次のA～Cの文章を読み、後の問（1～6）に答えよ。

- A マレー半島とスマトラ島の間の海峡は、古くから交通の要衝であった。14世紀末にマレー半島南西岸に建国した (1) 王国は、当初は①中国の明朝貢国となり、香辛料・綿布や陶磁器・絹などが行き交う東西交易の中継地として発展した。一方、15世紀末にインド航路を開いたポルトガルは、1510年にインド西岸の (2) に拠点を置き、1511年に (1) を軍事占領し、香辛料交易への参入をもくろんだ。しかし、②香辛料交易の独占に失敗したため、ポルトガルは南シナ海の中継貿易に活路を見出した。1557年には中国のマカオに拠点を設け、日本にも来航した。
- B ポルトガルとともに海外進出の先陣を切ったスペインは、インドをめざして西まわり航路を開拓したが、その結果アメリカ大陸に到達した。③スペインはアメリカ大陸

で採掘した銀を、メキシコから太平洋を横断してフィリピンのマニラに持ち込み、中国の絹・陶磁器などを手に入れた。また、アメリカ大陸とユーラシア大陸・アフリカ大陸の交流により、食物・動植物などさまざまなものの移動・交換がおこった。この移動・交換を、スペインの援助により西まわり航路開拓の航海をおこなった人物の名をとって「(3) 交換」とよぶ。

C オランダは、スペイン・ポルトガルに遅れて16世紀末から海外交易に参入した。王室が貿易を独占するスペイン・ポルトガルに対して、オランダは会社組織による海外進出をはかった。1602年に成立したオランダ東インド会社は、株式会社の形態をとるとともに、④領土や軍隊の保持などの権限を政府に認められた特許会社でもあった。ポルトガルから1641年に (1) を、1658年にスリランカを奪ったオランダは、アジアに広い交易網を築き、また⑤徳川政権との貿易を唯一ゆるされたヨーロッパ勢力として、大きな利益をあげた。本国の (4) は、ヨーロッパ最大の商業・金融都市として繁栄した。

ジャワ島の (5) に拠点を置き、18世紀半ばには諸勢力の内紛に乗じてジャワ島全域を領土としたオランダ東インド会社であったが、18世紀おわりにはイギリスとの争いに敗れ、会社は解散した。領土を受け継いだオランダ政府は熱帯作物の栽培と輸出に力を入れるとともに、19世紀にはジャワ島以外にも支配を拡大し、のちのオランダ領東インドの基礎を築いた。

問1 空欄 (1) ~ (5) にあてはまる語句をそれぞれの語群から選び、記号で答えよ。

空欄 語群

- | | | | | | |
|---------|--------|---|----------|---|---------|
| (1) ア | マジャパヒト | イ | マラッカ | ウ | マトラム |
| (2) ア | ゴア | イ | ボンベイ | ウ | カルカッタ |
| (3) ア | コロンブス | イ | マゼラン | ウ | カブラル |
| (4) ア | ユトレヒト | イ | アントウェルペン | ウ | アムステルダム |
| (5) ア | ジョホール | イ | バタヴィア | ウ | アユタヤ |

問2 下線部①について、当時の明の政策について述べた次の文の下線部 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

明は、a 海禁政策を実施して民間商人を貿易から排除する一方で、 b 洪武帝が鄭和を派遣し、東南アジアから遠く東アフリカ沿岸の諸国に朝貢を呼びかけた。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a—正 | b—正 | イ | a—正 | b—誤 |
| ウ | a—誤 | b—正 | エ | a—誤 | b—誤 |

問3 下線部②について、ポルトガルが香辛料交易を独占できなかった要因について述べた次の文の下線部 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ポルトガルは、a ペルシア湾の入り口に当たるホルムズをオスマン帝国におさえられたため、 b ムスリム商人によるアラビア海の交易を阻止することができなかった。 また、b イスラーム国家であるスマトラ島のアチェ王国などが新式の火器を利用しはじめ、 ポルトガルの軍事的優位が失われたことも一因であった。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ア | a—正 | b—正 | イ | a—正 | b—誤 |
| ウ | a—誤 | b—正 | エ | a—誤 | b—誤 |

問4 下線部③について、この貿易を、メキシコからの銀の積み出し港の地名をとってなんといいか答えよ。

問5 下線部④について、オランダ東インド会社は1623年に、香辛料の特産地であるモルッカ諸島においてイギリス商館を襲撃し、多数の死者を出す事件をおこしている。この事件をなんといいか答えよ。

問6 下線部⑤について、写真は当時の日本でつくられた有田焼である。この有田焼について述べた次の文の下線部 a と b の正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

中央の紋様はオランダ東インド会社を表す「VOC」をデザインしたものである。この文字が記されていることは、aこれが最初からヨーロッパ向け輸出品としてつくられたことを示している。こうした日本産陶磁器への需要が高まった背景には、b清朝が17世紀後半に台湾の鄭氏政権の弱体化をねらって遷界令を実施し、中国産の陶磁器がヨーロッパに入ってこなくなったことがある。



- ア a—正 b—正 イ a—正 b—誤
ウ a—誤 b—正 エ a—誤 b—誤

(IV) 次のA～Eの文章を読み、後の問(1～4)に答えよ。

- A 1801年、(1) は第3代アメリカ合衆国大統領となった。彼は、①アメリカ独立戦争中の1776年に大陸会議が発表した独立宣言の中心的な起草者として知られている。この独立宣言は、『統治二論』(『市民政府二論』)を著し、社会契約説をとなえて人民の抵抗権を正当化したイギリスの(2)の主張の影響をうけている。
- B 1817年、(3) は第5代アメリカ合衆国大統領となった。このころラテンアメリカでは、植民地生まれの白人である(4)を中心とする独立運動が広がっていた。このとき(3)は、南北アメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉を表明し、ヨーロッパ諸国の武力干渉に反対した。この(3)宣言は、以後、アメリカ外交の基本方針となった。
- C ②南部と北部の対立が深まるなか、1860年のアメリカ合衆国大統領選挙で共和党の(5)が当選すると、南部諸州は(6)を結成し、南北戦争がおこった。この戦争では、北部は当初苦戦を強いられたが、人口と工業力を活用するとしだいに優勢となり、ついには南部をやぶって戦争を終結させた。

- D 1901年、(7) は第26代アメリカ合衆国大統領となった。彼は、棍棒外交ともよばれる積極的なカリブ海政策をおこない、1903年には(8)をコロンビアから分離独立させて運河地帯を租借した。彼はまた、東アジアの国際政治にも積極的に関与し、1905年に日露戦争を調停した。
- E 1913年、(9) は第28代アメリカ合衆国大統領となった。1914年、ヨーロッパで第一次世界大戦が勃発すると、アメリカ合衆国ははじめ中立を保ったが、③ドイツが海上封鎖を実行すると、1917年に協商国側で参戦した。その翌年、(9)は(10)を発表し、公正な講和を提唱した。

問1 空欄(1)～(10)にあてはまる語句を下の【語群】から選び、記号で答えよ。

【語群】

- | | | |
|------------------|----------------|-----------|
| ア ワシントン | イ ジェファソン | ウ モンロー |
| エ ジャクソン | オ クリオーリョ | カ メスティーソ |
| キ アメリカ連合国 | ク アメリカ州機構 | ケ グラント |
| コ ウィルソン | サ ロック | シ マッキンリー |
| ス リンカン | セ パナマ | ソ モンテスキュー |
| タ 十四カ条の平和原則 | チ 平和に関する布告 | ツ スエズ |
| テ フランクリン＝ローズヴェルト | ト セオドア＝ローズヴェルト | |

問2 下線部①について、アメリカ独立戦争の背景となったイギリス本国と北アメリカ植民地の対立に関する下の文章の波線部ア～エのうち、誤っているもの一つを選び、記号で答えよ。

ア七年戦争後に財政難を抱えたイギリス本国が北アメリカ植民地への課税強化をはかり、1765年にイ茶法を導入すると、植民地側は、「代表なくして課税なし」となえて反対運動をおこし、エこの法律を撤廃させた。

問3 下線部②について、当時、北部と南部はどのような問題をめぐって対立していたか、30字程度で説明せよ。

問4 下線部③について、これは具体的にどのような海上封鎖戦術であったか、作戦名を答えよ。